

会議録

会議の名称	平成26年度 第2回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成26年10月1日（水曜日） 午後7時から8時50分まで
開催場所	保谷庁舎 1階会議室
出席者	委員：赤澤委員長、有賀副委員長、岸上委員、郷地委員、近辻委員、中平委員、西田委員、藤江委員、安井委員、山本委員 事務局：安藤文化振興課長、林文化振興係長、工藤文化振興係主査
議題	1 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について 3 平成26年度施策・事業評価（平成25年度分）について（施策番号1から5まで） 4 その他
会議資料の名称	1 西東京市文化芸術振興推進委員会委員名簿（修正版） 2 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録 3 計画中期の取組実施報告について 4 西東京市「対話による美術鑑賞」事業に関するアンケート集計結果（向台小） 5-1 推進委員会委員施策・事業評価コメント一覧（委員1～5） 5-2 推進委員会委員施策・事業評価コメント一覧（委員6～10） 6 平成26年度施策・事業評価（平成25年度分）調査結果一覧（施策1～5） （参考資料） ・「西東京市対話による美術鑑賞事業」リーフレット ・「西東京市民文化祭PRinアスタ」プログラム ・「第14回西東京市民文化祭オープニングイベント」チラシ ・「第14回西東京市民文化祭」プログラム ・広報西東京10月1日号（写）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>「開会」</p> <p>○副委員長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定足数と出席している委員を確認 ・今回会議への出席が初めての委員による自己紹介 <p>（配付資料について）</p> <p>○事務局：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1の修正箇所を説明 	

・参考資料として、「西東京市対話による美術鑑賞事業」リーフレット、市民文化祭関係のチラシ、プログラムなどを配付させていただいた。市民文化祭は、本日からアスタセンターコート2階でPRinアスタを開催している。東京文化財ウィーク2014も始まるので、是非足を運んでいただきたい。

議題1 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について

・委員各位より承認された。

議題2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について

・事務局から資料3、資料4に基づき説明

○事務局：

（「対話による美術鑑賞」事業の推進）

・市民ボランティアレベルアップ研修を今年度すでに8回実施。主な内容はアートカード練習とVTSコーチング。第7回研修では、武蔵野美術大学美術館で実践練習。ボランティアは、来年度早々に2期募集を実施し、30人、50人と増やしていきたいと考えている。

・小学校3校で実施。対象学年は4年生で、1～4時限目を使って実施。1クラス2時限で、1日2クラスまで。

・きらっとで、11月28日（金曜日）から12月5日（金曜日）まで開催の多摩北部5市美術家展の最終日12月5日（金曜日）に、「対話による美術鑑賞」体験会を実施。時間は、午前10時30分からと午前11時30分からの2回を予定。

・広報活動として、FM西東京にみーるさんが出演。市報及び市ホームページ掲載により、ボランティアに参加したい、見学したいなどの問い合わせが何件かあり。プレスリリースにより、報道機関からも問い合わせあり。

・小学校の授業の見学希望者については、子どもたちが集中できずに事業効果が上がらないということもあるので、慎重に対応している。

（多摩六都フェア事業の推進）

・映画制作ワークショップは、圏域市民からとても反響があり、定員30人のところ50人以上の応募があった。受講生30人の年齢は16歳から78歳まで（平均年齢39.3歳）と、とても幅広く異世代交流が期待できる。

（文化芸術振興イベントの充実）

・J:COM西東京の番組「たまるくと行政広報番組（ぐーたま）」で、市民文化祭と市民まつりをPR。

・文化芸術を通じた友好都市との交流促進として、西東京市と縁のある勝浦市の嶋村俊表の作品を視察。

（資料4・アンケート集計結果）

・「対話による美術鑑賞」実施小学校の先生に対するアンケートを実施。概ね好評だ

が、時間が長いことや、時間内に終わらなかったことに対して多少の意見あり。

○委員：

- ・ 嶋村俊表の話が出たが、田無神社の本殿の彫刻をしており、酉の市の日（10月31日、11月10日・22日）に合わせて、本殿などの特別公開があるので、是非足を運んでほしい。
- ・ 「対話による美術鑑賞」事業については、議会でも質問が出ていたが、委託業者のNPO法人ARDAからボランティアが1本立ちする必要もあるのではと思った。
- ・ 美術館訪問の状況について教えてほしい。

○事務局：

- ・ 今年度は、「対話による美術鑑賞」実施校8校のうち1校で美術館訪問を実施。11月28日（金曜日）に、栄小学校が学校での事前授業と併せて府中市美術館にも行く予定。この事業は、美術館を持たない自治体でも美術鑑賞ができるということ売りしているが、やはり、本物の芸術作品を見るべきという声もあるので、3校、5校と徐々に増やしていければと思っている。

議題3 平成26年度施策・事業評価（平成25年度分）について（施策番号1から5まで）

- ・ 事務局から資料5-1、5-2を説明する。

副委員長：

- ・ 15分ほど時間を取るのので、施策番号1から5までの各委員の評価コメントを読んでいただき、推進委員会評価コメントとして、入れるべき内容（キーワード、キーセンテンス）を簡潔に述べていただきたい。

（多様なメディアによる情報提供1）

○委員：

- ・ 紙情報は今でも大切である。
- ・ 情報は十分発信されているので、キャッチする側の問題もあるのでは。キャッチする側が取捨選択をすればいいこと。
- ・ 紙媒体を作成し、市ホームページにも掲載。文化芸術団体ともリンク。
- ・ いつどこで何をしているかが分かるカレンダーがあればいいと思う。
- ・ 学校のイベントも広報する必要がある。
- ・ 口コミなども大切である。
- ・ 目的や対象によって情報発信の仕方も変える必要がある。

（幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実2）

○委員：

- ・ 市民会館の建て替えが急務である。
- ・ 文化活動が西に偏っているのが問題。
- ・ 文化活動をするにはハコが大切である。全市的に考えるハコと、小さなエリアで考えるハコがあると思う。
- ・ こもれびホール、市民会館、コール田無の3施設を同じ指定管理者に任せると計画的な事業展開ができると思う。

- ・市民団体との意見交換をするなど、直接ニーズを聞く必要がある。

(子供達の参加の機会の充実3)

○委員：

- ・学校の先生の熱意によって、文化イベントへの参加状況が変わってくるように思うが。満遍無く出てもらう方法はないのか。
- ・文化活動が盛んな学校では、補助金をもらったりして積極的に課外活動を行ったりしており、そのような学校は文化イベントに参加する可能性は高いと思う。
- ・先ほど学校の公開についての話が出たが、学校に不特定多数の人が集まるとなると、不審者対策など防犯の問題をクリアする必要がある。
- ・「こどもたちの文化施設の利用は、優先的な予約など便宜を図る必要がある」という委員の評価コメントがあるが、保谷こもれびホールは共催等の対応をしている。

(個人及び団体活動のきっかけづくり4)

○委員：

- ・西東京市は市民の文化芸術のレベルが高いので、保谷こもれびホールでは、市民活動に密着した事業を展開していきたい。また、経費をかけずに芸術性が高い事業を実施するために、地元アーティストを発掘したりしたいと考えている。

○事務局：

- ・本日いただいた意見を踏まえ、施策番号1から5までは、来週中に事務局で取りまとめ、メールで送付し、内容を確認していただく。施策番号6から18までは、10月10日（金曜日）までに評価コメントをいただきたい。

議題4 その他

- ・次回、第3回推進委員会については、11月6日（木曜日）午後7時から保谷庁舎1階会議室に決定。

「閉会」